

.外国への日本人研究者派遣事業

外国への日本人研究者派遣事業

第1．派遣事業の目的

国内の若手日本人研究者を外国の研究機関及び大学等に派遣してエイズ対策に関する研究を行わせ、その成果をわが国のエイズ対策研究に反映させる。

第2．対象となる日本人研究者

エイズ対策研究事業の研究代表者又は研究分担者（若手育成枠は除く）が推薦する研究代表者又は研究分担者と同一所属機関の若手研究者（リサーチ・レジデントは除く）。

第3．派遣期間

会計年度を単位とする1ヶ年の期間のうち原則として6ヶ月間程度とする。なお、これにより難しい場合は、その理由を申請書の該当欄に明記するものとする。

第4．エイズ対策研究推進事業運営委員会

エイズ対策研究推進事業運営委員会においては、募集、選考について検討するほか、1年に1回研究実績を評価する。また、必要に応じて、研究進捗状況を評価することがある。

第5．財団が負担する費用

この事業で財団が負担する費用は次のとおりである。

- (1) 航空賃.....出発地の空港から到着地の空港までの往復の航空賃
- (2) 日 当.....国家公務員に準じて支給
- (3) 宿泊料.....国家公務員に準じて支給
- (4) 支度料.....国家公務員に準じて支給
- (5) 雑 費.....出入国税及び空港施設使用料等
- (6) 研究費
- (7) 海外旅行傷害保険料.....派遣期間を保険期間とする海外傷害保険料

第6．費用の積算方法

外国へ派遣する日本人研究者を次の2ランクに分類し、各ランクに応じて積算するものとする。
なお、国家公務員については、在職する等級号俸に基づき国家公務員旅費法に定める基準により積算することができるものとする。

Aランク.....(1) エイズ対策研究の分野において、顕著な功績を有する者

(2) エイズ対策研究機関の長又はこれに準ずる者

Bランク.....エイズ対策研究野において優れた研究を行っているものであって、上記以外の者

1. 航空賃は、次のとおりとする。
 Aランク………ビジネスクラス
 Bランク………エコノミークラス

2. 支度料は次のとおりとする。

ランク	3ヶ月以上	1ヶ月以上3ヶ月未満
Aランク	123,200円	104,720円
Bランク	94,330円	80,180円

3. 雑費は、出入国税及び空港施設使用料の必要な場合に、実費を支給する。

4. 日当及び宿泊料は、次のとおりとする。

ランク	区 分	指定都市	甲 地 方	乙 地 方	丙 地 方
Aランク	日 当	8,300円	7,000円	5,600円	5,100円
	宿 泊 料	25,700円	21,500円	17,200円	15,550円
Bランク	日 当	6,200円	5,200円	4,200円	3,800円
	宿 泊 料	19,300円	16,100円	12,900円	11,600円

この表の日当は、1日当たりの単価を示し、宿泊料は1夜当たりの単価を示す。

外国を出発した日及び外国に到着した日の旅行を除く航空機による旅行の日の日当は、丙地方の額とする。

同一地方に長期に滞在する場合の日当及び宿泊料は、滞在日数30日までは100%、31日から60日までは90%、61日以上は80%の支給率を乗じた額とする。

指定都市、甲地方、乙地方及び丙地方とは、それぞれ次のとおりである。

ア．指定都市

シンガポール、ロスアンゼルス、サンフランシスコ、ニューヨーク、ワシントンDC、ジュネーブ、ロンドン、パリ、モスクワ、アブダビ、ジェッダ、クウェート、リアド、アビジャン

イ．甲地方

(ア) 北米地域：北アメリカ大陸（メキシコ以南の地域を除く）グリーンランド、ハワイ諸島、バミューダ諸島、グアム

(イ) 欧州地域：ヨーロッパ大陸（乙地方の地域を除く）アイスランド、大ブリテン、マルタ、サブラス

(ウ) 中近東地域：アラビア半島、アフガニスタン、イスラエル、イラク、イラン、クウェート、ヨルダン、シリア、トルコ、レバノン、パレスチナ

ウ．乙地方

(ア) 旧ソビエト連邦諸国（アゼルバイジャン、アルメニア、ウクライナ、ウズベキスタン、エストニア、カザフスタン、キルギス、ベラルーシ、グルジア、タジキスタン、トルクメニスタン、リトアニア、ラトビア、モルドバ、モスクワを除くロシア）

旧東欧諸国（アルバニア、チェコ、スロバキア、ハンガリー、ブルガニア、ポーランド、ルーマニア、旧ユーゴスラビア（クロアチア、スロヴェニア、ボスニア・ヘルゼゴヴィーナ、セルビア、マケドニア））

(イ) インドシナ半島（シンガポール、タイ、ミャンマー、マレーシアを含む）

大韓民国、香港

(ウ) 大洋州地域：オーストラリア、ニュージーランド、ポリネシア海域、ミクロネシア海域、メラネシア海域

エ．丙地方

(ア) アジア地域（本邦を除く）：アジア大陸（乙地方の地域を除く）、インドネシア、フィリピン、ボルネオ

(イ) 中南米地域：メキシコ以南の北アメリカ大陸、南アメリカ大陸、西インド諸島

(ウ) アフリカ地域：アフリカ大陸、マダガスカル、マスカレーニュ諸島、セイシュル諸島

(エ) 南極地域：南極大陸

5．研究費

外国へ派遣される日本人研究者には、1人当たり100万円の範囲内で研究費を支給することができる。ただし、特段の理由がある場合には、1人当たり支給額を100万円を超え、300万円の範囲内とすることができる。

6．海外傷害保険料は、補償限度額を次の表とする海外傷害保険にかかる保険料とする。

死亡・後遺症	傷害治療費	疾病治療費	疾病死亡	救護者費用
40,000千円	3,000千円	3,000千円	10,000千円	2,000千円

第7．費用の支給方法

費用の支給は、航空賃、海外旅行者傷害保険料及び雑費(出入国税等)を除いて、すべて派遣研究者の指定する銀行口座(日本国内)に送金することによって行うものとする。各費用の支給は次のとおり。

- (1) 航空賃は、原則として財団において往復の航空券を手配し、旅行代理店を通じて派遣研究者に交付する。
- (2) 支度料は、財団で算定した額を支給する。
- (3) 雑費は、出入国税及び空港施設使用料等が必要な場合に、実費を支給する。
- (4) 日当及び宿泊料は、財団で算定した額を支給する。
- (5) 研究費は、派遣研究者の研究費交付申請書に基づき、財団で算定した額を支給する。
- (6) 海外傷害保険料は、財団において傷害保険の加入の手続きを行い、加入した傷害保険の保険証書は、代理店を通じて派遣研究者に交付する。

第8．派遣に係る手続き等

1．応募の方法

外国への日本人研究者派遣事業に応募する研究代表者は、次に掲げる書類を財団に提出する。

- (1) 派遣申請書 (様式1)
- (2) 履歴書(派遣研究者) (様式2)

- (3) 派遣承諾書（派遣研究者）（様式3）
- (4) 派遣推薦書（研究代表者又は研究分担者）（様式4）
- (5) 派遣承諾書（所属機関の長）（様式5）
- (6) 派遣外国旅行行程調書（様式6）
- (7) 派遣機関からの招へい状
- (8) 派遣機関からの招へい状の日本語訳

応募申請の採用の可否について、財団は申請者・派遣研究者・派遣研究者の所属する機関の長に、文書で通知するものとする。

なお、財団からの採択通知を受理した派遣研究者は、財団に派遣費用振込預金口座届出書（様式7）を15日以内に提出するものとする。

2．研究費に係る手続き

研究費の交付を受けようとする場合には、派遣研究者は財団に「派遣研究費交付申請書」（様式8）及び派遣研究費所要額調（別添）を派遣出発日の遅くとも1ヶ月前までに提出する。

3．派遣期間等の変更をする場合の手続き

派遣期間及び派遣先を変更しようとする場合には、派遣研究者は派遣期間開始日の1ヶ月前までに「派遣期間等変更申請書」（様式9）及び「派遣外国旅行行程調書」（様式6）を財団に提出し、その承認を受けなければならない。

4．派遣を中止する場合の手続き

派遣を中止する場合には、派遣研究者は事前に「派遣中止申請書」（様式10）を財団に提出し、その承認を受けなければならない。

第9．研究成果の報告等

1．派遣研究者は派遣期間終了後1ヶ月又は翌年度の4月5日のいずれか早い期日までに「派遣研究実績報告書」（様式11）及び「派遣研究費決算報告書」（様式12）等（但し、派遣研究費を交付された場合のみ）を財団に提出しなければならない。

2．財団は、研究成果の報告を刊行物等などにより公表することができる。

3．派遣された研究者が、派遣による研究成果を発表する場合には、財団及び派遣先機関等の承諾を得ると共に、当該研究が財団のエイズ対策研究推進事業の日本人研究者派遣事業によるものである旨を明記しなければならない。

第10．その他

本事業採択後において、財団が指示する書類の提出及びその期限を守らないなど、事業の円滑な実施に支障を来す者については、採択の取り消しを行うこともありますので十分留意して下さい。

(様式1)

〔外国への日本人研究者派遣事業〕
(エイズ対策研究推進事業)

派 遣 申 請 書

平成 年 月 日

財団法人エイズ予防財団理事長 殿

申 請 者	氏 名	(研究代表者)	印	職名	
	所属機関				
	所在地	(〒 -)	TEL	-	- (内線)
			FAX	-	-
			E-MAIL		
	研究課題名				

貴財団が実施する外国への日本人研究者派遣事業による派遣を下記のとおり申請します。

記

派遣研究者 氏 名		19 年 月 日生 (歳)
所属機関		職名
所属機関 所在地	(〒 -)	TEL - - (内線) FAX - - E-MAIL
派遣期間	(出国日 ~ 入国日) 平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日 (日間)	

派遣研究者の 研究課題				
派	機 関 名	(外国語)		
		(日本語)		
遣	所 在 地	(外国語)		
		(日本語)		
先	研 究 指 導 者	(外国語)	職 名	(外国語)
		(日本語)		(日本語)
派遣期間等が基準により難しい理由				

<p>希 望 ラ ン ク</p>	<p>(希望するランクに) Aランク.....(1) エイズ対策研究の分野において顕著な功績を有する者 (2) エイズ対策研究機関の長又はこれに準ずる者 Bランク.....エイズ対策研究の分野において優れた研究を行っている者であって、上記以外の者 (Aランクを希望する場合は、理由書を添付してください。)</p>
<p>派遣研究者の研究実績 (1) 要 旨</p>	
<p>(2) 最近3年間に学会誌等に発表した論文(Publication List)</p>	

派遣を希望する理由・期待できる効果

派遣研究者の派遣期間中の研究計画

(エイズ対策研究における研究代表者の研究課題との関連についても併せて記入してください。)

(様式2)

〔外国への日本人研究者派遣事業〕
(エイズ対策研究推進事業)

履 歴 書 (派遣研究者用)

平成 年 月 日

氏 名	フリガナ			写 真
	漢 字	印		
	ローマ字			
生年月日	19	年	月	日生(作成日現在 歳)
本籍地			戸籍上の性別	男・女
学 歴				
職 歴				
当財団以外に海外への派遣申請をしている場合	有 ・ 無	有りの場合はその申請先の名称及び選考時期		
派遣期間中の所属機関からの給与支給について	有 ・ 無	有りの場合はその1ヶ月当たりの金額		
現在所属している機関の身分	常勤職員 ・ 非常勤職員 ・ その他 ()			

(様式3)

〔外国への日本人研究者派遣事業〕
(エイズ対策研究推進事業)

派遣承諾書 (派遣研究者用)

平成 年 月 日

財団法人エイズ予防財団理事長 殿

貴財団の実施する外国への日本人研究者派遣事業によって、下記のとおり派遣されることを承諾します。

記

派遣研究者	氏名	印	職名
派遣期間	(出国日~入国日) 平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日 (日間)		
派遣先機関	名称	(日本語)	
	所在地	(日本語)	
自宅住所	(〒 -)		
	TEL		

(様式4)

〔外国への日本人研究者派遣事業〕
(エイズ対策研究推進事業)

派 遣 推 薦 書

平成 年 月 日

財団法人エイズ予防財団理事長 殿

推 薦 者	氏 名	(研究代表者又は研究分担者)	印	職名	
	所属機関 所在地	(〒 -)	TEL - - (内線) FAX - - E-MAIL		
	職 名				

貴財団が実施する外国への日本人研究者派遣事業による派遣研究者として、下記の者を推薦します。

記

被 推 薦 者	氏 名		職名	
	所属機関名			
推薦理由				

注：被推薦者（派遣研究者）は、推薦者（研究代表者又は研究分担者）と同一機関に所属していること。

(様式5)

〔外国への日本人研究者派遣事業〕
(エイズ対策研究推進事業)

派遣承諾書 (所属機関用)

平成 年 月 日

財団法人エイズ予防財団理事長 殿

所属機関の長	機関名			
	所在地	(〒 -)		
	職名		氏名	職印

貴財団が実施する外国への日本人研究者派遣事業によって、当機関所属の職員が下記のとおり派遣されることを承諾します。

派遣研究者	氏名		職名	
派遣期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日 (日間)			
派遣先機関	名称	(日本語)		
	所在地	(日本語)		

(様式6)

〔外国への日本人研究者派遣事業〕
(エイズ対策研究推進事業)

派遣外国旅行行程調書

1. 派遣研究者 氏名	俸給表 職() 等級 号俸
2. 派遣先機関所在地都市名・国名 市 国	
3. 旅行日程 (1) 往路 日本出発 平成 年 月 日 出発空港名 空港 〔経由地 (国名) 〕 到着地 (国名)) (2) 復路 出 発 平成 年 月 日 出 発 地 (国名)) 到着空港 空港	

(注) 俸給表・等級号俸欄は国家公務員のみ記入して下さい。

派遣先機関からの招へい状
(添付)

招へい状の日本語訳
(添付)

(様式7)

〔外国への日本人研究者派遣事業〕
(エイズ対策研究推進事業)

派遣費用振込預金口座届出書

1. 銀行及び取扱店名 _____ 銀行 _____ 支店 _____
2. 銀行コード番号 _____
3. 店コード番号 _____
4. 口座番号 _____
- (フリガナ)
5. 口座名義 _____
(派遣研究者)
6. 預金の種類 _____

上記のとおりお届けいたします。

平成 年 月 日

財団法人エイズ予防財団理事長 殿

(派遣研究者)

所属機関

所在地

氏名

印

(注) 預金通帳の表紙と2枚目の写しを添付すること。

(様式8)

〔外国への日本人研究者派遣事業〕
(エイズ対策研究推進事業)

派遣研究費交付申請書

平成 年 月 日

財団法人エイズ予防財団理事長 殿

(派遣研究者)

所属機関所在地

所属機関・職名

氏 名

印

この度、貴財団が実施する平成 年度エイズ対策研究推進事業外国への日本人研究者派遣事業の決定にともない、派遣の研究費を下記のとおり申請します。

記

1. 申請金額： 金 円

内訳は別紙「派遣研究費所要額調」のとおり

2. 研究期間： 自 平成 年 月 日

至 平成 年 月 日

3. 研究に従事する外国の機関及び研究指導者

研究機関 機関名

所在地

研究指導者 職 名

氏 名

4. 決算報告

この研究については、財団の指定した期日までに決算報告いたします。

(別添)

派遣研究費 所要額調 (作成例)

経費区分	金額	積算内訳
	(円)	
1. 諸謝金	180,000	研究協力謝金 1人×10日×@12,000 = 120,000円 1人×10日×@6,000 = 60,000円
(注1) 2. 旅費	150,000	研究打合会出席旅費 ~ (1泊2日) 1人×1回×@50,000 = 50,000円 研究協力旅費 ~ (3泊4日) 1人×1回×@100,000 = 100,000円
(注2) 3. 備品費	126,400	図書購入費 10冊×@10,000 = 100,000円 1冊×@26,400 = 26,400円
4. 消耗品費	1,896,000	事務用消耗品 ファイル 10冊×@1,000 = 10,000円 ボールペン 10セット×@1,000 = 10,000円 ノート 10冊×@100 = 1,000円 研究用消耗品 ピペット 50セット×@2,500 = 125,000円 試験管 1,000本×@200 = 200,000円 試薬 5セット×@50,000 = 250,000円 シャーレ 1,000枚×@500 = 500,000円 動物(ウサギ) 50匹×@1,000 = 50,000円 研究用薬品 ラジオアイソトープ 20個×@25,000 = 500,000円 合成オリゴヌクレオチド 10個×@25,000 = 250,000円
5. 印刷製本費	20,000	研究打合せ資料印刷 10部×2回×@1,000 = 20,000円
6. 通信運搬費	3,600	研究連絡のための郵送料 4人×10回×@90 = 3,600円
7. 賃借料	158,000	研究用機器借上料 60日×@900 = 54,000円 実験用動物舎借上料 60日×@1,000 = 60,000円 会議室借上料 2回×@2,000 = 4,000円 研究施設使用料 4回×@10,000 = 40,000円
8. 会議費	15,000	研究打合会議 5人×2回×@1,500 = 15,000円

経費区分	金額	積算内訳
	(円)	
9. 光熱水料	21,000	電気代 6ヶ月×@2,000 = 12,000円 ガス代 6ヶ月×@1,000 = 6,000円 水道代 6ヶ月×@ 500 = 3,000円
10. 賃金	280,000	研究補助員雇上 1人×40日×@7,000 = 280,000円
11. 雑役務費	150,000	現像・焼付代 20本×@1,000 = 20,000円 コピー代 500枚×@20 = 10,000円 振込(送金)手数料 10,000円 翻訳料 和文 英訳 20頁×@5,000 = 100,000円 借用機器修理代 2回×@5,000 = 10,000円
合計	3,000,000	

(注1) 派遣研究者本人の旅費については、航空運賃等の交通費は国家公務員の支給基準に基づき支給されますが、日当及び宿泊料は支給対象となりません。なお、研究協力者についてはこの限りではありません。

(注2) 備品費には、機械・器具及びパソコン等の備品(図書購入等は除く)は、支給対象とはなりません。

研究費内訳参考資料

経 費 区 分	摘 要
1 . 諸 謝 金	
研究協力謝金	研究指導者、協力者に対する謝金
研究助手謝金	研究助手として働いた者に対する謝金
2 . 旅 費	
研究旅費	研究打合せ等の旅費
研究協力旅費	研究資料、材料収集等研究協力者の旅費
3 . 備 品 費	研究に要する図書（ 備品的機械、器具は除く ）
4 . 消 耗 品 費	研究用消耗品、文房具、研究用薬品等
5 . 印 刷 製 本 費	報告書、資料等の製本代等
6 . 通 信 運 搬 費	
郵 送 料	研究連絡用送料等
電 話 料	研究連絡用通信料等
7 . 賃 借 料	コンピュータ借料、研究用機器借上料、会議室借料、研究施設使用料等
8 . 会 議 費	会議に要した茶菓子代、弁当代
9 . 光 熱 水 料	研究遂行のため施設に支払う電気、ガス、水道料
10 . 賃 金	研究のために雇用する者の賃金（パートも含む）
11 . 雑 役 務 費	研究用フィルム現像・焼付料、資料のコピー代、振込手数料、研究資料・研究論文等の翻訳料、借用研究機器等の修繕費等
合 計	

(様式9)

〔外国人研究者招へい事業〕
(エイズ対策研究推進事業)

派遣期間等変更申請書

平成 年 月 日

財団法人エイズ予防財団理事長 殿

申請者	氏名	(研究代表者)		
	所属機関及び職名	印		
派遣研究者	氏名	印	職名	
	所属機関			

貴財団が実施する外国への日本人研究者派遣事業による派遣者の派遣期間等について、下記の理由により変更を申請します。

記

変更事項		1. 期間	2. 派遣先	(該当の数字に をして下さい。)
派遣期間	当初	平成 年 月 日	~	平成 年 月 日 (日間)
	変更後	平成 年 月 日	~	平成 年 月 日 (日間)
派遣先	当初			
	変更後			
変更理由(具体的に)				
(記入欄に不足が生じる場合は、A4判の用紙を使用して下さい。)				

(様式10)

〔外国への日本人研究者派遣事業〕
(エイズ対策研究推進事業)

派遣中止申請書

平成 年 月 日

財団法人エイズ予防財団理事長 殿

申請者	氏名	(研究代表者)		
	所属機関及び職名	印		
派遣研究者	氏名	印	職名	
	所属機関			
派遣期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日 (日間)			

貴財団が実施する外国への日本人研究者派遣事業による派遣決定の通知を受けましたが、下記の理由により派遣を中止したいので申請します。

中止の理由(具体的に)

記入欄に不足が生じる場合は、A4判の用紙を使用して下さい。

(様式11)

〔外国への日本人研究者派遣事業〕
(エイズ対策研究推進事業)

派遣研究実績報告書

(見本)

1. 派遣研究者

所属・職名： センター 研究所 部長

氏 名：

< 1行あけ >

2. 派遣申請者(研究代表者)

所属・職名： 大学 学部 教授

氏 名：

< 1行あけ >

3. 研究に従事した派遣先の機関

名 称(和文)： 英国国立 研究所 部

(英文)：

所 在 地(和文)： 州 市

(英文)：

< 1行あけ >

4. 研究に従事した派遣先の研究指導者

所 属 機 関(和文)： 英国国立 研究所 部

(英文)：

職 名 ・ 氏 名(和文)： 部長(教授)

(英文)：

< 1行あけ >

5. 派遣期間： 平成 年 月 日 ～ 平成 年 月 日(日間)

< 1行あけ >

6. 研究課題： に関する研究

< 1行あけ >

7. 研究活動の概要

教授の下において の手法による の解明について研究を行った。
(目的、活動内容を具体的に)

< 1行あけ >

8. 派遣事業の成果

を中心に周辺の研究機関、研究者の

(派遣先の研究機関において研究したことによる効果(成果)を具体的に)

が得られた。

- (注) 1. 用紙はA4判とすること。
2. ワードプロ、パソコン等で浄書すること。
3. 派遣先、外国の機関における研究指導者は、英文と和文で併記すること。
4. 研究活動の概要は、最低3,000字以上にまとめて提出して下さい。
5. 研究課題名は、派遣申請書に記載された「派遣研究者の研究課題名」とすること。

(様式12)

〔外国への日本人研究者派遣事業〕
(エイズ対策研究推進事業)

派遣研究費決算報告書

平成 年 月 日

財団法人エイズ予防財団理事長 殿

(派遣研究者)
所属機関所在地：
所属機関・職名：
氏 名： 印

平成 年度エイズ対策研究推進事業外国への日本人研究者派遣事業を実施し、貴財団より交付を受けた派遣研究費について、別添の派遣研究費決算金額内訳書のとおり、支出いたしましたので、証拠書類とともに報告いたします。

派遣研究費決算金額内訳書（記入例）

外貨の交換

交 換 日	年 月 日
レ ー ト (種 類)	\$ 1 = 100円 (米 国 ド ル)
交換外貨総額	\$ 30,000

派遣研究者氏名 _____

経 費 区 分	金 額	内 訳	証 拠 書
1 . 諸 謝 金	\$ 1,800	研究協力謝金 1人×10日×@\$120 = \$1,200 1人×10日×@\$60 = \$600	1 2
2 . 旅 費	\$ 1,500	研究打合せ出席旅費 ~ (1泊2日) 1人×1回×@\$500 = \$500 研究協力旅費 ~ (3泊4日) 1人×1回×@\$1,000 = \$1,000	
3 . 備 品 費	\$ 1,264	図書購入費 10冊×@\$100 = \$1,000 1冊×@\$26.4 = \$264	
4 . 消 耗 品 費	\$ 18,960	事務用消耗品 ファイル 10冊×@\$10 = \$100 ボールペン 10セット×@\$10 = \$100 ノート 10冊×@\$1 = \$10 研究用消耗品 ピペット 50セット×@\$25 = \$1,250 試験管 1,000本×@\$2 = \$2,000 試薬 5セット×@\$500 = \$2,500 シャーレ 1,000枚×@\$5 = \$5,000 動物(ウサギ) 50匹×@\$10 = \$500 研究用薬品 ラジオアイソトープ 20個×@\$250 = \$5,000 合成オリゴヌクレオチド 10個×@\$250 = \$2,500	
5 . 印刷製本費	\$200	研究打合せ資料印刷 10部×2回×@\$10 = \$200	
6 . 通信運搬費	\$36	研究連絡のための郵送料 4人×10回×@\$0.9 = \$36	
7 . 賃 借 料	\$1,580	研究用機器借上料 60日×@\$9 = \$540 実験用動物舎借上料 60日×@\$10 = \$600 会議室借上料 2回×@\$20 = \$40 研究施設使用料 4回×@\$100 = \$400	

経費区分	金額	内 訳	証拠書
8. 会議費	\$ 150	研究打合会議 5人×2回×@\$15 = \$150	
9. 光熱水料	\$ 210	電気代 6ヶ月×@\$20 = \$120 ガス代 6ヶ月×@\$10 = \$60 水道代 6ヶ月×@\$5 = \$30	
10. 賃 金	\$ 2,800	研究補助員雇上 1人×40日×@\$70 = \$2,800	
11. 雑役務費	\$ 1,500	現像・焼付代 20本×@\$10 = \$200 コピー代 500枚×@\$0.2 = \$100 振込(送金)手数料 \$100 翻訳料 和文 英訳 20頁×@\$50 = \$1,000 借用機器修理代 2回×@\$50 = \$100	
合 計	\$ 30,000		

- (注) 1. 交付を受けた研究費を外貨に交換した日のレート及び交換外貨総額がわかる証拠書類を添付すること。
2. 合計金額は、交付を受けた研究費総額(外貨)と同額にすること。
3. 証拠書は番号を付け、かつ順番を整理し添付すること。(小さな領収書等は台紙に添付すること。)